



2018 年 6 月 6 日

Audi Q8 をワールドプレミア：アウディ Q ファミリーのニューフェイス

- 表現力豊かなデザイン、新しいシングルフレーム、初代 Audi quattro の特徴を継承
- 広い室内、エレガントなインテリア、タッチ操作コンセプト、ハイテクナビゲーション
- 4 輪操舵と quattro ドライブによる俊敏なハンドリングと最高のトラクション

2018 年 6 月 5 日 インゴルシュタット/深セン (中国)：Audi Q8 は、4 ドアのラグジュアリークーペを連想させるエレガントなスタイルと、大型 SUV の多用途性を兼ね備えています。豪華な装備、包括的なコネクテッド機能、卓越したオフロード性能を特徴とするこのクルマは、ビジネス及びレジャーの理想的なパートナーとなるでしょう。Audi Q8 は、2018 年第 3 四半期にヨーロッパ市場に導入されます。

多用途、スポーティ、エレガント：優れたサイズとスペースコンセプト

Audi Q8 は、スポーティなダイナミクスに加え、アウディ ブランドの SUV の中でも一番高い Prestige を特徴としています。この SUV クーペの全長は 4.99m、全幅は 2.00m、全高は 1.71m で、姉妹モデルの Q7 と比較すると、幅は広く、全長と全高は短く低くなっています。ホイールベースは約 3.00m に設定され、室内長やヘッドルームを含むほとんどの室内寸法で、直接的なライバルを凌ぐ広さを実現しています。リヤシートの定員は 3 名で、必要に応じてシートを前後に調整することが可能です。リヤシートの背もたれを折りたたむと、ラゲージコンパートメント容量を最大で 1,755ℓ まで拡大することができます。リヤゲートは電動式となっています。

Q ファミリーの新しい形：エクステリアデザイン

Audi Q8 は、Q ファミリーの新しい顔となる、印象的な八角形デザインのシングルフレームグリルを備えています。直立した力強いラジエーターグリル、左右に延びるフロントスポイラーと立体的な造形のエアインレットによって、圧倒的な存在感を放っています。エレガントな弧を描くルーフラインは、緩やかに傾斜した D ピラーへと繋がっています。ホイールアーチ上には、特徴的な quattro プリスターが設置され、最大 22 インチのホイールを装着することができます。Audi Q8 には、初代 quattro をモチーフにした、数々のデザインディテールを見て取ることができます。力強い造形とアスリートのように引き締まったボディパネルは、パワフルで洗練された印象を与え、フルタイム 4WD 特有のダイナミクスを表現しています。スポイラー、ホイールアーチトリム、ドアトリムストリップ、ディフューザーにはコントラストカラーが採用され、オフロードモデルならではの外観をさらに強調しています。

Audi Q8 には、LED ヘッドライトが標準装備され、HD マトリクス LED ヘッドライトがオプション設定されています。両ヘッドライトともに、3 次元的なシグネチャーを生み出すデイトタイムランニングライトを備え、テールライトはデジタルの世界を象徴しています。左右のリヤライトは、ライトストリップで接続されています。初代 Audi quattro と同様、ライトストリップの下にはブラックパネルが設置されています。Audi Q8 のオーナーは、スマートフォンにインストールした myAudi アプリを使用して、さまざまなライティング機能を有効にして、クルマの外からそれを眺めることができます。

スポーティなドライブ体験：サスペンションと駆動システム

アウディの歴史は、quattro の歴史でもあります。この伝統は、SUV ラインナップの頂点に君臨する Audi Q8 にも受け継がれています。機械式のセンターディファレンシャルは、通常走行時は、40:60 の比率で前後のアクスルにパワーを配分します。必要に応じて、より優れたグリップを得るため、パワーの大部分を前輪または後輪のアクスルに配分することが可能です。さらに、254mm の最低地上高、短いオーバーハング、ヒルディセントコントロールにより、たとえ旅先で舗装が途切れてしまった場合でも、安心して走行を続けることができます。Audi Q8 には、減衰力調整機能を備えたサスペンションが標準装備されます。さらに、オプションとして自動車高調整機能を備えたアダプティブエアサスペンションも用意されています。このサスペンションは、コンフォートまたはスポーツモードに設定することが可能で、走行条件やドライバーが選択したモードに合わせて車高を 90mm 調整します。

Audi Q8 には、ステアリングホイールの操舵角が増すにつれて、ステアリングレシオをよりダイレクトに変化させるプログレッシブステアリングを標準装備し、オプションでオールホイールステアリング（4 輪操舵）も提供します。オールホイールステアリングは、リヤホイールを最大 5 度まで操舵します。低速では、フロントとは反対方向に操舵することによって取り回し性を改善し、高速ではフロントと同じ方向に操舵することによって安定性を高めます。

すべての駆動システムは、新しいマイルドハイブリッドテクノロジー（MHEV）によって、極めて効率的です。48 ボルトの主電源システムには、2 つの重要なテクニカルモジュールである、リチウムイオンバッテリーとベルト駆動式オルタネータースターターが組み込まれています。制動時には、最大 12kW の電力を回生してバッテリーを充電します。MHEV テクノロジーによって、エンジンを停止させた状態で一定時間コースティング（惰性走行）することが可能になり、スタート/ストップ機能は 22km/h から作動します。

明快なデザインで新しいプレミアムを演出：インテリア

アウディは、分かりやすいシンボルによって、精密なデジタル技術、アーキテクチャーと操作コンセプトの高度な統合を表現しています。その代表的な例が、最上位システムの MMI タッチレスポンスディスプレイです。ブラックパネルのディスプレイは、イグニッションスイッチをオフにすると、ブラック基調の装飾トリムパネルに溶け込んで、ほとんど見えなくなります。フラットなエアイベントストリップから、ティプトロニックのセレクターレバーが設置されたセンタートンネルに至るまで、すべての要素はお互いに理論的な関連性を備えています。夜間は、オプションのアンビエントライティングが、インテリアの特徴的なラインを照らし出し、グローブボックスに設置された立体的な quattro ロゴは、バックライトによって浮かび上がります。これらは、インテリアの魅力語るほんの一例に過ぎません。オプション装備には、マッサージ及びベンチレーション機能を備えたカスタマイズドコンツァーシート、4 ゾーンオートマチックエアコンディショナー、エアクオリティパッケージなどが含まれ、室内のエレガントな雰囲気さがさらに高めることができます。

タッチスクリーンと明確なコンセプト：操作系及びディスプレイ

Audi Q8 に採用された MMI タッチレスポンス操作コンセプトにより、ほぼすべての機能は、2 つの大型ディスプレイを介して操作することができます。10.1 インチの上部ディスプレイは、インフォテインメント及びナビゲーションシステムを制御するために使用します。8.6 インチの下部ディスプレイは、ヒーター/エアコンディショナー、コンビニエンス機能、テキスト入力に使用します。テキストを入力する場合、ドライバーは、手首をセレクターレバーの上に乗せて、快適に操作することができます。

操作は、すばやく簡単に行うことができ、触覚と音のフィードバックで確認できます。さらに、自然言語に対応したボイスコントロールにより、Audi Q8 は、インテリジェントな対話のパートナーとなります。ドライバーは、日常会話をするように、ボイスコマンドを発話することができます。たとえば、ボイスコントロールシステムは「お腹がすいた」という言葉を理解して、近くのレストランに入ることを提案したりします。

走行に関する情報は、フルデジタルのオーディオバーチャルコックピットに表示されます。高解像度の12.3インチディスプレイは、マルチファンクションステアリングホイールを介して、2種類のビューを切り替えることができます。オプションのプラスバージョンには、スポーティな3番目のビューが追加されます。ヘッドアップディスプレイは、ナビゲーション用の詳細なガイダンスを含む、重要な情報をフロントガラスに投影します。

高度なネットワーク機能：Audi connect とドライバーアシスタンスシステム

ドイツ市場では、最上位のインフォテイメントシステム、MMI ナビゲーションプラスが標準装備されます。このシステムには、LTE-Advanced (LTE アドバンスド) 規格に対応し、Wi-Fi ホットスポット機能を備えた Audi connect データモジュールが含まれています。ナビゲーションシステムは、過去の走行記録からドライバーの好みを認識して、インテリジェントな提案を行います。Audi connect オンラインサービスには、ルート計算のプロセスに予測機能が追加されました。これにより、オーディオ車両のスワームインテリジェンス（群知能）を活用した、道路標識情報やハザード情報に関する Car-to-X サービスが実現しています。オプションの Audi connect key は、互換性のある Android スマートフォンを使用して、ドアの施錠や開錠、エンジン始動などを行うことができます。プロフィール機能では、約400にも及ぶ項目を細かく調整して、複数のドライバー設定を保存することができます。myAudi アプリを使用すると、アプリで検索した目的地をナビゲーションシステムに転送したり、音楽をストリーミング再生したり、カレンダーを MMI に転送することもできます。

Audi Q8 は、オーディオフォンボックス及び VoLTE (Voice over LTE) により、最高の音質と接続品質も実現しています。同じことは、Bang & Olufsen アドバンスドサウンドシステムにも当てはまります。このシステムを装備すると、すべてのシートで、立体的な 3D サウンドを楽しめるようになり、まるでコンサートホールにいるような臨場感が再現されます。

Audi Q8 は、駐車場、市街地、ロングドライブなど、あらゆる状況でドライバーをサポートします。このようなシステムとしては、アダプティブクルーズコントロール、予測効率アシスト、交差点アシスト、レーンチェンジ警告、縁石警告、360°カメラなどが挙げられます。アシスタンスシステムのハイライトは、2019年の初頭に導入予定のリモートガレージパイロットです。このシステムは、ドライバーによる監督の下、Audi Q8 の車庫入れや車庫から出す操作を自動的に行うことができます。ドライバーは事前にクルマから降りて、スマートフォンの myAudi アプリを使用して駐車プロセスを開始します。(リモート) パーキングパイロットは、同様の利便性を提供します。これらの機能は、セントラルドライバーアシスタンスコントローラーによって実現しています。このユニットは、車両周囲の詳細な環境モデルを連続的に算出し、それをアシスタンスシステムの制御に利用します。必要なデータは、選択されたオプションに応じて、最大5基のレーダーセンサー、6台のカメラ、12個の超音波センサー、1基のレーザーキャナーから取得します。

※本リリースは、ヨーロッパ仕様に基づく AUDI AG 配信資料の翻訳版です。